

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年2月7日 (2019.2.7)

【公開番号】特開2016-135852(P2016-135852A)

【公開日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2015-256085(P2015-256085)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/10 (2006.01)

C 0 8 L 101/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/54 (2006.01)

C 0 8 K 5/17 (2006.01)

C 0 8 J 3/28 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

C 0 9 J 11/02 (2006.01)

C 0 9 J 201/10 (2006.01)

C 0 9 D 201/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/10

C 0 8 L 101/04

C 0 8 K 5/54

C 0 8 K 5/17

C 0 8 J 3/28 C E Z

C 0 9 D 7/12

C 0 9 J 11/02

C 0 9 J 201/10

C 0 9 D 201/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月19日 (2018.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 架橋性珪素基含有有機重合体と、

(B) 光塩基発生剤と、

(C) S i - F 結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性接着剤。

【請求項 2】

(D) 活性エネルギー線開裂型ラジカル発生剤をさらに含有することを特徴とする請求項 1 記載の光硬化性接着剤。

【請求項 3】

前記 (B) 光塩基発生剤が、光潜在性第 3 級アミンであることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の光硬化性接着剤。

【請求項 4】

前記 (A) 架橋性珪素基含有有機重合体が、1 分子中に平均して 0 . 8 個以上の架橋性

珪素基を含有するポリオキシアルキレン系重合体、１分子中に平均して０．８個以上の架橋性珪素基を含有する飽和炭化水素系重合体、及び１分子中に平均して０．８個以上の架橋性珪素基を含有する（メタ）アクリル酸エステル系重合体からなる群から選択される１種以上であることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項記載の光硬化性接着剤。

【請求項５】

請求項１～４のいずれか１項記載の光硬化性接着剤に対し、光を照射することにより硬化物を形成することを特徴とする硬化物の製造方法。

【請求項６】

請求項１～４のいずれか１項記載の光硬化性接着剤を用いて製造することを特徴とする製品の製造方法。

【請求項７】

（Ａ）架橋性珪素基含有有機重合体と、

（Ｂ）光塩基発生剤と、

（Ｃ）S i - F 結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性シーリング材。

【請求項８】

（Ａ）架橋性珪素基含有有機重合体と、

（Ｂ）光塩基発生剤と、

（Ｃ）S i - F 結合を有するケイ素化合物と、

を含有することを特徴とする光硬化性ポッティング材。